

## ” 広げよう写友の和 ”

県本部委員長 佐藤 親正  
(4/18 県例会挨拶より)

皆さんこんにちは、3月の県本部総会で委員長の任を拝命しました。どうぞよろしくお願いいたします。委員長の名刺に、上に掲げたスローガンを書きました。「広げよう」は「ひろげよう」と読みます。「和」は同時に「輪」でもあります。ひろげようと思っても、黙ってはいひろがらない、手を使い、体を使って頑張るところに広がりが生じます。写友には私たちの写真を通じての友情をひろげていこう。ひろがる和は、なごやかに友情の輪をひろげていこう、という意味です。私はできる限り、私の周りにいる人を大事にいたします。皆さん

もご自分の周りにいる写友の方を大事にさせていただきたい。撮影では「あそこに行ったら良いところあったけど黙ってしよう」ではなくて「あそこに良いのがあったよ」と、またソフトの勉強では、わからない人が一杯いて、自分がわかっていけば「あの人はわからない、自分はわかる、私勝ったわ」ではなくて、そういう方に教えてほしいと思います。そういう一つ一つの積み重ねが、写友の和をひろげる根本ではないかと思っています。どうぞご協力をよろしくお願いいたします。

## 「県例会について」

県例会は、埼玉県本部の将来を担う、根本の大事な勉強会です。どうか皆さんひとりひとりがこの県例会にどうかかわっていくか、よく考えていただきたいのです。1回きて、「ああ良い点取れた、取れない、私のはダメなのね」で終わる人は、「点」で終わる人、最悪です。「今回はあまり良い成績ではなかった。よし、次回頑張ろう」そういう「線」を結べる人、

それが望ましい姿勢です。コンテストも同じですが、一回限りでやろうということはあり得ません。やっぱり持続して行くことだと思います。続けていくことで、写真の力が間違いなくついてくるのです。つづけるには、打たれ強い、タフな精神力が必要です。皆さんにはぜひこの山、あの谷を乗り越えて進んで行っていただきたいと思います。

### 春の県例会が開催

平成27年度、春の例会が4月18日(土)県民活動総合センターで13時15分から開催されました。八重桜咲く行楽日和の土曜日でしたが、80名を超える参加者で盛況のうち開会の運びとなりました。作品講評の前に、26年度の年度賞表彰が行われ、以下の各氏が、表彰されました。(お名前 支部名) おめでとうございます。

つづいて恒例の例会審査となりましたが、今年度から従来の互選から県本部委員14名による審査方式と変わりました。今回は単、合わせて150点を越す出品数となり、進行に時間がかかりましたが、審査の結果以下の成績発表と講評が行われました。

### 年度賞

○単写真の部		○組写真の部	
服部清次	川越	小林 進	川口
小澤秀敏	彩北	田村真由美	女性
小林 進	川口	服部清次	川越
阿部誠子	越谷	宮川綾子	川口
豊田美徳	越谷	島津典祐	川口
小林千津子	川口	山下智子	川口
小林正江	越谷	小林千津子	川口
豊田和代	彩北		
小澤久美子	女性		
山口欽一	越谷		
小久保敦央	川越		

### 春の例会賞

○単写真の部(20点)	
小林伸一(2)	越谷
坂巻時子	越谷
小林千津子	川口
小林進(2)	川口
龍澤豊文	いるまの
渡邊 章	ネーチャ
鈴木博子	いるまの
服部清次(2)	川越
新井房子	彩北

○組写真の部(同13点)	
服部清次(2)	川越
坂巻時子(2)	越谷
島津典祐(2)	川口
田村真由美	女性
山下智子	川口
宮川綾子	川口
小林 進	川口
進藤恵美子	川口
阿部誠子	越谷
斎藤昇 一	越谷

(2)は複数作品の入選の方です。